

intertek

news

Vol.86

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

- 01 気候変動に関するISO規格への追補に関して
- 02 特集
- 03 社会全体での気候変動課題への対応に向けて
～認証組織と利害関係者に求められる積極的な運用参加～
- 04 News&Topics
 - ▶ 亀井組様、木材活用コンクールにて内閣総理大臣賞受賞
 - ▶ ハイブリッド式[会場&Live配信] FSSC 22000 Ver.6 効果的運用セミナーのご案内
 - ▶ Q&A
- 05 審査の現場から
 - ▶ お客様紹介
(株式会社ニシムラ)
 - ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「パフォーマンス評価(1)」
- 06 連載よみもの
 - ▶ 審査員リレーエッセイ
「AI審査員」
(審査員 平野 俊樹)
 - ▶ 環境とISO 14001
「ウェルビーイング(2) ウェルビーイング経営」
- 07 お客様からのお便り
 - ▶ 「自動車用ホーンの専門メーカーとして国内トップシェア」
(丸子警報器株式会社)
 - ▶ 「粉・塩・水だけでじっくり醸す伝統製法パン」
(株式会社おへそパン工房)
- 08 研修コースのご案内
 - ▶ ちょっといっぴく
 - ▶ 研修コース案内
 - ▶ 受講生からのお便り
(越野運送株式会社)

インターテック・サーティfikेशन株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



気候変動に関する ISO規格への追補に関して

ISO認証部 テクニカルエキスパート うすい まさき
碓井 政輝

平素より弊社の認証サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

酷暑とも言われる近年の夏ですが、今年の暑い夏をいかがお過ごしでしたでしょうか。

日常生活では食中毒／熱中症／夏バテなどの発症のリスクがあります。

これらのリスクに対策をすることで何とか乗り切る事が出来た、そのような方々も多くいらっしゃるかと思います。この暑さは日本だけではなく、世界的に見ても気温が上昇する傾向があり、地球温暖化が問題視されるきっかけとなった1985年の世界会議(オーストリアでのフィラハ会議)から40年ほど経ちました。ご存じの通り、地球温暖化は気候変動とも捉えられることが多く、気候変動は私たちの健康、食料生産能力、住まい、安全、そして仕事に影響を及ぼす可能性があります。

このような中で、この度は気候変動に関する内容がISOマネジメントシステム規格へ追補されました。日常生活における“酷暑のリスクの抽出と対策実施”と同じように、組織様の運用においても“気候変動のリスクの抽出と対策実施”が求められるようになります。

4月22日に弊社ホームページでの掲載にて「《お客様向け》気候変動を配慮したマネジメントシステム規格の追補について」を発信させていただいてから数ヶ月が経過し、その間に最新情報へ随時更新を行う中、多くのお問い合わせをいただきました。審査時にどのような対応をすれば良いのか?いつから運用を開始すればよいのか?などの共通したお問い合わせの内容がございました。そのような疑問にお答えできるよう、次ページの特集記事では「社会全体での気候変動課題への対応に向けて」と題し、認証組織と利害関係者に求められる積極的な運用参加の視点から、ISOマネジメントシステム規格への気候変動に関する追補について特集しております。Q&Aなど他関連記事も合わせて、是非ご覧ください。

今年も残り少なくなり寒くなってまいります。皆様どうかご自愛いただき、お過ごしください。

